

第1回 環境教育・ESD ティーチャーズトーク
～「忘れられない学び」を実現する「プロジェクト型」の手法～
開催のご案内

環境省では、教員を対象としたプログラム「環境教育・ESD ティーチャーズトーク」を開催します。

本プログラムは、環境教育・ESDの現場に携わる方、また将来的に活動を希望されている方を対象として実施します。

学校で環境教育・ESDを推進する先生をゲストとしてお招きし、自身の活動事例や活動を推進するうえで大切にしている手法や価値観、課題などをご紹介いただき、参加者の環境教育・ESDへの学びとなるよう、シリーズで開催していく予定です。

第1回のゲストは栢之間倫太郎さん（新渡戸文化小学校 PBL デザイナー）です。

栢之間さんが新渡戸文化小学校で実施する「Human Library Project」やプロジェクト型学習（PBL）の重要性についてお話しいたします。

環境教育・ESDに取り組んでいる方はもちろんのこと、これから取り組んでみたいとお考えの方、またどのようなことから始めたらよいのだろうと活動についてご自身のなかで課題を感じていらっしゃる方も是非ご参加ください。

*本イベントは「日中韓環境教育ネットワーク (TEEN; Tripartite Environmental Education Network)」の共同プロジェクトとして実施しています。

第1回テーマ：「忘れられない学び」を実現する「プロジェクト型」の手法

■日時：2023年3月3日（金）20：00～21：00

■開催方法：オンライン（Zoom ウェビナー）

■対象：環境教育・ESDに取り組んでいる先生

環境教育・ESDにこれから取り組みたいと考えている先生

環境教育・ESDにご関心のある方（教員以外の方々もご参加が可能です）

■参加費：無料

■申込方法：こちらのフォームからお申込みください。

<https://forms.gle/bL6vN41yCXCZ7Lfw9>

■締切：2023年3月3日（金）12:00

【スケジュール】

20:00	趣旨説明
20:05	ゲストトーク：栢之間倫太郎さん（新渡戸文化小学校 PBL デザイナー）
20:35	Q&A
20:55	まとめ

【ゲスト紹介】

栢之間倫太郎さん（新渡戸文化小学校 PBL デザイナー）

東京都の公立小学校にて勤務した後、2019 年度より現任校に所属。2017 年に「教師海外研修」(JICA 東京) でザンビア共和国を訪れ、帰国後に SDGs の視点で小学生が自由にプロジェクトを立ち上げる学びを実施。以降 PBL の手法を使い、本質的でダイナミックな学びのデザインを目指す。

現在は新渡戸文化学園で初等教育のリデザインに注力。「プロジェクト科」を立ち上げ、各学年の PBL デザインをサポートする。教員向け PBL 研修や、企業とコラボしたプロジェクトなども行う。趣味はアフリカ探訪。



著書：『子ども STEAM シリーズ 身の回りから考える SDGs』（アルク）

受賞：『Outstanding Leadership Award 2022』（Education 2.0）

主催：環境省

協力：日中韓環境教育ネットワーク（TEEN）共同プロジェクト委員会

お問い合わせ

公益社団法人日本環境教育フォーラム

電話：03-5834-2897（平日 11:00～16:00）

E-mail：teen_jointproject@jeef.or.jp

担当：中地

※テレワークを実施しています。担当へのお問い合わせはできるだけメールでご連絡ください。